

加曽利貝塚の魅力発信！「出土資料の全国巡回」と「縄文体験プログラムのリニューアル」を行います！
～「発掘された日本列島2018」展に加曽利貝塚が初登場！縄文体験ではかそりーぬやハート形土偶が新登場！～

千葉市では、昨年10月に加曽利貝塚が国の特別史跡となり、少しずつ加曽利貝塚の知名度や認知度が高まってまいりました。

このたび、さらなる魅力と価値の周知を図るため、6月から「発掘された日本列島2018」展に加曽利貝塚が初めて登場し、出土資料の全国巡回を行いますので、お知らせします。

また、加曽利貝塚博物館で行っている縄文体験プログラム「考古学者のお仕事体験&縄文あそびコーナー」をリニューアルしますので、併せてお知らせします。

1 「発掘された日本列島2018」展での加曽利貝塚出土資料の全国巡回

年間8千件を超える全国の発掘調査の中から注目すべき遺跡を選びすぐって紹介する「発掘された日本列島」展に特別史跡加曽利貝塚の出土資料が初登場します。平成7年度から数えて24回目となる今年は、注目の17遺跡546点が展示されますが、加曽利貝塚からは迫力ある幅3mの貝層断面や埋葬されたイヌ、異形台付土器をはじめとした特色ある出土資料51点を展示します。

6月2日（土）から始まる東京都江戸東京博物館での展示を皮切りに平成31年2月17日（日）まで全国5館を巡回します。

(1) 東京都江戸東京博物館での展示概要

ア 日程

平成30年6月2日（土）～7月22日（日）

イ 場所

東京都江戸東京博物館（東京都墨田区横網1-4-1）

ウ 観覧料 常設展観覧料でご覧いただけます

一般600（480）円、大学生・専門学校生480（380）円、

高校・中学生・65歳以上300（240）円、小学生以下無料

※カッコ内は20人以上の団体料金です

エ 開館時間

9：30～17：30（土曜日は19：30、7月20日は21：00まで開館）

入館は閉館の30分前まで

オ 休館日

月曜日（ただし、7月16日は開館し、翌17日は休館）

カ 主催者

文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協議会

(2) その他の博物館等

別添「発掘された日本列島2018」展チラシ参照

※関東近郊では、川崎市市民ミュージアムでも平成31年1月8日（火）から2月17日（日）まで展示します。

(3) 加曽利貝塚の主な展示内容



貝層断面（幅3m×高さ1.8m）



埋葬されたイヌ



異形台付土器

2 縄文体験プログラム「考古学者のお仕事体験&縄文あそびコーナー」リニューアル

民間企業の企画を導入し、平成30年1月からスタートした縄文体験プログラム「考古学者のお仕事体験&縄文あそびコーナー」を6月からメニューを一部変えて、再スタートします。

好評の発掘体験「考古学者のお仕事体験」を引き続き実施するほか、人気の土偶ペーパークラフトではかそりーぬやハート形土偶が新たに登場します。

(1) 開催日時

平成30年6月から平成31年3月までの土・日・祝日
11:00~15:00（最終受付14:30）

(2) 開催場所

加曽利貝塚博物館（若葉区桜木8-33-1）

(3) 参加費

無料（事前申込み不要。当日直接会場へ。）

(4) 内 容

プログラム	内容
考古学者のお仕事体験	特設の発掘ひろばで、発掘道具の使い方や遺物の取り上げ方を学ぶことができる発掘調査を体験。体験者には、特製かそりーぬグッズをプレゼント。
縄文あそびコーナー	ハサミを使わず手軽に可愛い土偶のペーパークラフトを作ることができます。これまでの3種類の土偶に加えて、新たにハート形土偶とかそりーぬが登場します。博物館内の「土器ドキ縄文ラボ」で開催。 【実施スケジュール】 6月・11月 ハート形土偶【新規】 7月・12月 かそりーぬ【新規】 8月・1月 遮光器土偶 9月・2月 山形土偶 10月・3月 みみずく土偶



発掘調査体験



【新規】ハート形土偶、かそりーぬ



左から遮光器土偶、山形土偶、みみずく土偶

※詳細はホームページをご参照ください。

【URL】 https://www.city.chiba.jp/kasori/news/info_2018_osigoto.html